

①計画(素案) に関する主なご意見に対する市の考え方

※お寄せいただいたご意見は、同様の趣旨のものは集約し、取りまとめさせていただきました。

番号	主なご意見（概要）	市の考え方
1	再配置は行わずに、各施設において節電を実施すれば、財政面での解決に繋がるのではないか。	市では、経営改革プランに基づき、持続可能な行政経営の実現を目指し、経営改革に取り組んでいるところです。公共施設における節電対策についても取り組み、財政構造の抜本的な改革等により、財源を確保していきます。
2	施設の更新時において、長寿命化が可能な施設は長寿命化を実施してほしい。	素案においては、更新費用の不足額の解消に向けて、施設の状況等を把握し、損傷が軽微なうちに修繕を行う予防保全型維持管理の推進による施設の延命化に取り組むこととしております。予防保全型維持管理の考え方に基づき必要な対策を実施することで更新費用の低減を目指しながら、施設の延命化を図っていきます。
3	建物の維持管理はしっかりやってほしい。	維持管理については、素案において、更新費用の不足額の解消に向けて、施設の状況等を把握し、損傷が軽微なうちに修繕を行う予防保全型維持管理の推進による施設の延命化に取り組むこととしております。
4	市民に希望を持てるように、皆さんに我慢を強いるが、市はこのようなことがやりたいということを示してほしい。	本計画により、次世代を見据え、市民の皆様にとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていきたいと考えています。公共施設の再配置を推進することで、将来にわたって安定的な行財政運営の構築を図り、市民の皆様のニーズに沿った新たな施設の施策については、別途、各種計画の策定や毎年度の予算編成で検討し実行していきます。

番号	主なご意見（概要）	市の考え方
5	人口減少が進む中、今後、公共施設を広域化していく考えも必要である。	公共施設の更新に当たっては、効率的な運営の観点から自らが全てを整備することを前提とせず、国や県、近隣市町との相互利用や共同設置を検討し、公共施設の保有総量の適正化のため、施設の性質等に応じて、広域化についても検討していきます。
6	メリットしか記載がないので、デメリットへの対策も記載してほしい。公共施設を廃止した場合の代替案を示すべきである。	公共施設の再配置を進めていくことにより、市民の皆さんにご不便をおかけすることもあるかと思いますが、本計画により、次世代を見据え、市民の皆様にとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていきたいと考えています。代替案は、公共施設の再配置を推進し、将来にわたって安定的な行財政運営の構築を図ることで、市民の皆様のニーズに沿った新たな施策として、別途、各種計画の策定や毎年度の予算編成で検討し実行していきたいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。
7	施設を再配置する場合は、高断熱等のエネルギー消費量の少ない施設とすれば、災害時の避難所としても快適性が上がる。	本計画により、次世代を見据え、市民の皆様にとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていく中で、新たな配置についても検討していきたいと考えています。ご意見については、施設の更新等に当たって、参考にさせていただきます。
8	施設を再配置する場合は、魅力ある、安全に利用できる施設であることが必要である。	素案においては、市民の安全・安心の確保を最優先に事業の優先順位を総合的に判断することとしています。ご意見については、施設の更新等に当たって、参考にさせていただきます。

番号	主なご意見（概要）	市の考え方
9	総合的な複合施設が駅の近くにあれば良い。	素案においては、市の施設として存続するとした施設の更新等に当たっては、将来の人口見通し等を踏まえ、他施設との統合・複合化や減築等についても検討し、規模を適正化することとしています。配置については、次世代を見据え、市民の皆様にとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていく中で検討していきたいと考えています。
10	学校にコミュニティセンターを入れるなど施設の複合化を考えてほしい。	素案においては、市の施設として存続するとした施設の更新等に当たっては、将来の人口見通し等を踏まえ、他施設との統合・複合化や減築等についても検討し、規模を適正化することとしています。公共施設の保有総量の適正化のため、施設の性質等に応じて、複合化することについても検討していきます。
11	総合社会体育館、青堀小学校の両方を建て替えるのではなく、学校を建て替え、体育館を開放すれば良いのではないか。	素案においては、市の施設として存続するとした施設の更新等に当たっては、将来の人口見通し等を踏まえ、他施設との統合・複合化や減築等についても検討し、規模を適正化することとしています。公共施設の保有総量の適正化のため、施設の性質等に応じて、複合化することについても検討していきます。
12	他の自治体では地場産業を活かし、木造建築を取り入れている。地域にあった施設の再配置をするべきである。	本計画により、次世代を見据え、市民の皆様にとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていく中で、新たな配置についても検討していきたいと考えています。ご意見については、施設の更新等に当たって、参考にさせていただきます。

番号	主なご意見（概要）	市の考え方
13	市の将来を考え、単に壊すだけではなく、必要な施設は新たに配置すべきである。	本計画により、次世代を見据え、市民の皆様にとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていく中で、新たな配置についても検討していきたいと考えています。
14	行政サービスを維持するためには、施設の選択と集中が必要である。	本計画は、次世代を見据え、市民の皆さんにとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていこうとするものです。公共施設の再配置を進めることで、公共施設のサービスだけではなく、市民の皆様のニーズに沿うよう、子育て、高齢者支援、防災などの様々な行政サービスを維持・向上させ、活力あふれるまちづくりに繋げていきます。
15	図書館や歴史資料館といった文化を高めるのに必要な施設を設置してほしい。	本計画により、次世代を見据え、市民の皆様にとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていきたいと考えています。公共施設の再配置を推進することで、将来にわたって安定的な行財政運営の構築を図り、市民の皆様のニーズに沿った新たな施策については、別途、各種計画の策定や毎年度の予算編成で検討し実行していきます。
16	公共施設を建て替えるときは、規模の縮小化も含め、場所もとことん検討されるべし。	素案においては、市の施設として存続するとした施設の更新等に当たっては、将来の人口見通し等を踏まえ、他施設との統合・複合化や減築等についても検討し、規模を適正化することとしています。また、地域における各施設の立地・利用状況を踏まえて再配置を行うこととしており、施設配置の適正化を図っていきます。

番号	主なご意見（概要）	市の考え方
17	公共施設等総合管理計画の更新をする際には、個別施設計画の内容も取り入れた方が良いでしょう。	本計画の策定後、各施設の更新や保全に関する考え方について明確化する個別施設計画を策定していきます。その後、公共施設等総合管理計画を更新する際には、本計画や個別施設計画の内容を踏まえていきます。
18	施設を建て直す場合は、市民や市議会の意見を取り入れて進めてほしい。	施設の性質等に応じて、市民や市議会の意見を取り入れて検討していきます。
19	施設の老朽化も進んでいる。もっと早く取り組むべきである。	公共施設の老朽化に対応するため、できる限り速やかに保有総量の適正化を進めていかなければならないと考えていますが、厳しい財政状況を踏まえ、事業費の平準化を図るため、本計画の対象期間は令和7年度までとし、まずは期間中の大規模改修・更新等に計画的に取り組んでいくこととしています。なお、令和8年度以降も見直しを行った上で計画を策定し、公共施設の再配置を進めることとしており、できる限り加速化を図っていきます。
20	50年先ではなく、10年、20年先の説明もしてほしい。	素案においては、将来の更新費用の試算を50年間で行っていますが、これは、公共施設の保有総量の適正化を目指し、公共施設に係る更新費用の長期的な持続可能性を分析するために行っており、ある程度長期間で行う必要があるものと考え、50年間としました。また、計画の対象期間を令和7年度までとし、期間中の大規模改修・更新等に計画的に取り組んでいくこととしています。これは、公共施設等総合管理計画の計画期間に合わせたものです。令和8年度以降も見直しを行った上で計画を策定し、公共施設の再配置を進めていきます。

番号	主なご意見（概要）	市の考え方
21	住みよい街にしていくために頑張っていくと目標を示してほしい。	本計画により、次世代を見据え、市民の皆様にとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていきたいと考えています。公共施設の再配置を推進することで、将来にわたって安定的な行財政運営の構築を図り、市民の皆様のニーズに沿った新たな施策を、別途、各種計画の策定や毎年度の予算編成で検討し実行していきます。
22	これまでの予算のかけ方が箱もの重視だったのでは。反省からスタートしてほしい。	本計画は、次世代を見据え、市民の皆さんにとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていこうとするものです。公共施設の再配置を進めることで、公共施設のサービスだけではなく、市民の皆様のニーズに沿うよう、子育て、高齢者支援、防災など様々な行政サービスを維持し、そして向上させていくことで、活力あふれるまちづくりに繋げていこうと考えています。
23	将来更新費用の試算について、ソフト費用、ランニングコストも見べきではないか。	試算の期間が長期に渡り予測が困難なことから、将来負担コストの見通しは、建替え費用のみで試算しています。素案においては、更新費用に対して投資可能額が不足していることから、その解消に向けて、経営改革の推進や、予防保全型維持管理の推進による施設の延命化等に取り組み、ランニングコストも含めた節減等に努め、財源の確保を図っていきます。
24	将来更新費用の試算において、同規模での更新が前提となっているが、人口減少が進む中、説得力がない。	素案における将来の更新費用の試算については、総務省が示した試算方法を参考に行っており、公共施設の再配置を行わない場合と、行う場合について試算しています。このうち行わない場合の試算については、現有する公共施設を全て同じ規模のまま保有する前提で行っています。再配置を行わない場合でも、人口減少に伴い、ある程度の施設規模の適正化は行われると思われませんが、その程度の予測が困難であったため、公共施設の再配置を行わない場合は、すべて同規模での更新を前提に試算したものです。

番号	主なご意見（概要）	市の考え方
25	コスト計算をきちんとやり直して市民に示してほしい。	素案においては、公共施設の保有総量の適正化を目指し、各施設の長期的な方針を整理し、これに基づく将来の更新費用の試算を行っています。試算については、今後の人口推移や個別の施設のニーズの移り変わり、施設の長寿命化を図ることによる影響など、様々な要素を全て考慮して行うことは困難であることから、市民の皆様がこの問題を分かりやすくお示しするために一定の仮定に基づいて算出した推計となります。試算方法については様々な方法やお考えがあるかと思いますが、ご理解いただければと思います。
26	峰上地区のように人口減少が進んでいる地域において施設を廃止すると、人口減少が加速する。計画を見直してほしい。	地域のコミュニティは、地域の人々の繋がりで作られているものと考えています。本計画により、次世代を見据え、市民の皆様にとって身近な公共施設を富津市に合ったかたちに変えていくことで、これからの富津市の基盤づくりを進めていきたいと考えています。人口減少対策については、各施策分野にまたがって、特に重点的に取り組む施策を定める富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略により実行していきます。
27	コミュニティセンターを地元区に譲渡する場合の詳細について明確にすべきである。	コミュニティセンターなどについては、地元区等への譲渡などを進めることとしており、必ずしも地元へ譲渡するとしているわけではありません。地元区に譲渡するとした場合、詳細について、地域の皆様と丁寧に協議の上、検討していきます。
28	コミュニティセンターを地元区に譲渡するがあるが、老朽化した施設を現状のまま譲渡されると地元としては厳しい。	素案において、コミュニティセンターは地元区等への譲渡などを進めていくとあるのは、地元区への譲渡を含め、あらゆる手法を検討していくという趣旨です。地元区に譲渡することとなった場合には、条件等について、地域の皆様と丁寧に協議をして検討していきます。

番号	主なご意見（概要）	市の考え方
29	佐貫コミュニティセンターの譲渡の検討について、地元と何回も協議の場を設けてほしい。	コミュニティセンターなどについては、地元区等への譲渡などを進めることとしており、必ずしも地元譲渡としているわけではありません。地元区に譲渡とした場合の詳細については、地域の皆様と丁寧に協議して検討していきます。
30	コミュニティセンター等はできるだけ建物を長期化させる手立てを考え、市が責任を持って管理運営すべき。	コミュニティセンターなどについては、地元区への譲渡を含め、地域の皆様と丁寧に協議し、あらゆる手法を検討していきます。
31	学校の跡地については、住民の意見を捉えながら有効活用してほしい。	素案においては、閉校となる学校について、地域の意見を踏まえつつ、民間活力の導入も図りながら施設の有効活用について検討することとしており、ワークショップ等を通じて地域の意見を伺いつつ、有効活用を検討していく予定です。
32	廃止する施設を地域が使用したいという要望があれば聞いてほしい。	素案においては、廃止施設・跡地利用の方針について、地域の意見を踏まえ、有効活用について検討することとしております。地域の要望は、ワークショップ等を通じて伺っていく予定です。
33	各学校の水泳の授業をなくすべきではない。	プールについては施設に要するコストを抑えながら水泳の授業を行っていきたいと考えています。小学校については水泳の授業を引き続き行っていますが、中学校については学習指導要領で実施義務が定められていないことから、水泳の実技指導を行わないことを検討していきたいと考えており、ご理解いただきたいと思います。
34	水泳の授業について、県営・民営プールでの実施を検討しているが、安全面から見て実現してほしい。	素案においては、学校のプールについては、県営・民営プールでの代替について検討することとしています。公共施設の保有総量の適正化を図るため、実現に向けて検討を進めていきたいと考えております。

番号	主なご意見（概要）	市の考え方
35	大貫連絡所は廃止するとあるが、利用していた施設であったため、非常に困る。	素案においては、出張所・連絡所は、住民票等のコンビニ交付の開始等を踏まえ、機能を本庁舎・天羽行政センターに集約し、廃止することとしています。地域の皆様にはご不便をおかけすることとなりますが、ご理解いただければと思います。
36	峰上地区の行政サービスがなくなるのか。過疎化地域対策が必要。	公共施設の再配置により行政サービスの提供場所が遠くなるなど、市民の皆様にご不便をおかけすることもあるかと思いますが、コンビニエンスストアでの市税の納付、各種証明書等の発行や、民間との連携などにより、できる限り行政サービスの維持に努めていきます。
37	消防団の詰所は特に大事な施設であるため、廃止するのは良くない。	素案においては、消防団詰所と機庫を統合することとしており、詰所は残していくこととしています。
38	市営住宅廃止の方針は、自治体の役割を放棄しているのではないか。代替案があるなら示してほしい。	素案においては、公共施設の保有総量の適正化を図るため、施設における行政サービスの必要性や民間での代替可能性について検討することとしています。市営住宅については、低所得者向けの住まいの支援策は、長期的には、市が住宅を整備するのではなく、ソフト的な支援でも可能ではないかと考え、新小原団地への集約を進め、他の団地は早期の廃止を目指すこととし、新小原団地についても将来的には新規募集を停止し、廃止することとしたものです。